

# スポーツデータ(またはスポーツICT)の 流通・活用を推進するコンソーシアム(仮称) の立上げ提案

平成28年2月24日

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
テクノロジーサービス局 舘 剛司

# アクションの方向性(提案)

＜第一回(2015.8.21.)資料より抜粋＞

- 各種ステークホルダによる議論・協業の場として、**スポーツデータ・コンソーシアム(仮称)**を立ち上げてはいかがか。
- コンソーシアムの活動マイルストーンとして以下を想定。
  - (1) スポーツ関連ビジネス、スポーツイベント主催者・参加者、青少年スポーツの指導者、トップアスリートおよびその指導者など(以下、スポーツ関係者)が各種スポーツデータやスポーツ関連情報の収集・分析のためのニーズ・シーズ(技術)・分析結果について事例紹介・情報交換する。
  - (2) スポーツデータや健康管理データを扱うデバイス・システムの提供側(ITベンダー)を交えて、データフォーマットやデバイス・システムをまたがった交換インタフェースなど、必要な標準化・統一化を推進し、競技団体などを通じて採用を働き掛ける。
  - (3) スポーツ関係者間でのデータの有償・無償での交換を促進するための環境・ルールを検討する。

# スポーツデータ(またはスポーツICT)の流通・活用を推進するコンソーシアム(仮称)の活動案

- 2016年度よりコンソーシアムの枠組みを立上げ、以下の事業・議論を推進する。
  1. スポーツデータ流通・活用の**個別実証事業の認定**（民間または関係省庁の主導による個別プロジェクト）
    - 想定事例＝アドバンスドスタッツの収集・分析事業（パラリンピック競技種目など）／収集データをもとにした活用促進事業（アイディアソン、ハッカソン）／スポーツ分野におけるデジタルマーケティング実証事業／他関連省庁の事業成果をもとにした健康促進アプリ実証事業など。
    - コンソーシアムとして、参加会員からの提案に基づき、実証事業の認定を行う。
  2. スポーツデータ流通・活用のための**プラットフォーム整備事業の推進**（関係省庁の主導による事業）
    - 想定事例＝上記実証事業の成果をもとにしたスタッツ・データベース整備事業／スポーツマーケティング・データベース構築事業／スタッツデータ標準化事業など。
    - コンソーシアムとして、プラットフォーム整備の必要性・事業計画を議論・承認する。
  3. スポーツデータ流通・活用**ルールの整備**
    - 想定事例＝上記整備事業の成果をもとにしたプラットフォーム利用ルールの整備／スポーツデータ流通を促進するための各種ルール作りなど。
    - コンソーシアム事務局が作成した案をもとに、議論・承認（コンソーシアム推奨案として）する。

## 【参考】パラリンピック競技観戦のためのICTアイデアソン(案)

- テーマ設定：「パラリンピック競技の観戦者・視聴者を100倍にする」ために、競技観戦におけるICT活用の工夫を考えるアイデアソン
- 目標：パラリンピックチケット完売を目指し、ICT・デジタルメディアを活用して、桁違いの競技人気を実現する。
- 方法：パラリンピック大会競技種目の実際の試合で収集したスタッツデータ、あるいはICTを活用して新たに収集したいスタッツデータ、選手のプロフィール情報、コーチや関係者による見どころ情報・アドバイス、などをもとに、デジタルメディアを活用して、観戦をより楽しむためのプレゼン方法・応援方法についてのアイデアソンを開催する。
- 参加募集：全国の大学の情報処理系・スポーツ科学系などの学生を中心として参加チームを募集する。チームには、障がい者競技のアスリートやスポーツ指導員なども参加してもらい、アイデアを議論する上でのアドバイスをもらう。
- 成果活用：すぐれたアイデアやデータ収集方法・実際の収集データをもとに、後日のハッカソン開催につなげるとともに、成果の本番導入を目指す。
- 開催：9月のリオ大会に合わせて都内で開催する。